

市と共栄大学との連携協力について



武 幹也 議員

春日部市と共栄大学・共栄学園短期大学は、平成19年5月24日に包括的連携協定を締結し、現在、さまざまな連携事業が実施されています。

新たな事業として、共栄大学等のスクールバスを利用し、北春日部駅・共栄大学間に、学生とともに地域の高齢者を同乗させる事業、及び共栄大学等の学生を、現在の通学交通費程度で市内の商店や農家、高齢者世帯等に下宿してもらう事業を提案しますが、市の考えを伺います。



松本 浩一 議員

今こそ、中小業者支援施策の充実を

利用方法や事故対応方法等について、地域の自主的かつ具体的な活動において検討、協議を行つていただき、地域の合意形成が図られ、実施できるよう期待したいと思います。

○総合政策部長

学生たちが市内をフィールドとして、まちづくりに参加していくなどして、まちづくりに参加していることは、ありがたいのですが、市が下宿を仲介することは難しいと考えます。

○クレヨン shinちゃん一家の記念表彰について
○市表彰特別賞について
○エコ照明について

利子等の補助は市税を財源としているため、融資要件に市税の完納を必須としています。住宅リフォーム助成制度は、経済効果が特定業種に限定される等、公平性の観点から導入は困難です。プレミアム付商品券は、集計結果を分析し、結果等を踏まえて研究します。市内中小業者実態調査の実施は、今後研究します。

○環境経済部長

10月15日に幸松小学校南校舎で外壁の一部が落下する事故が発生しました。幸い、児童等に被害はなかったということですが、市内の学校では、これまでにも東中学校で大規模に外壁が落下する等、何度か同様の事故が発生しています。これまでには人的な被害はありませんでしたが、このような事故が繰り返し発生する事態には、大きな事故につながるのではないかと大変心配しています。

そこで、校舎の安全点検の実施状況を伺います。

○総務部長

小規模契約希望者登録制度は、十分なPRに努めます。

現状では、限度額の引き上げの必要性は低いと考えています。公契約条例は、今後も継続して調査・研究します。

○保育所の充実を

校舎の改築は、現在、全校の耐震補強、石綿対策を最優先に年次的に進めており、幸松小学校についても耐震補強で対応したいと考えています。

○このほか

○9月議会請願で採択のとおり「少人数学級」の実施を

○営業や生活の実態に即した、法定点検等を年1回から2回、施設管理者による定期点検は、専門業者による定期的

校舎・体育館の維持管理改修・建て替えについて



卯月 武彦 議員

で実施している、住宅リフォーム助成制度の実施。(3)今年6月実施のプレミアム付商品券を再度実施。(4)市内中小業者の実態調査の実施。(5)小規模契約希望者登録制度を広く知らせ、限度額を引き上げる。(6)全国で初めて野田市が制定した公契約条例を制定する。

○都市整備部長

スクールバスへの同乗は、道路運送法上の混乗に当たり、利用者や行政等からの金品の収受は禁じられているため、大学側の厚意の範囲で利用することになります。大学からは今後協力していきたいとの話を受けていますが、市が主体となり対応することは難しいと判断しています。今後は、

深刻な経済危機の今こそ、行政が市内中小業者に支援の手を差し伸べることが必要です。緊急に次の施策の充実を図ることについて伺います。

○学校教育部長

学校施設はいずれも老朽化しており、維持管理、修繕に苦慮しています。安全性の点検は、専門業者による定期的

検を随時、施設課職員による一斉点検を年度当初に1回のほか、他校の事例による特定項目の点検を随時実施しています。また、今回の事故を受け、改めて校長会に点検をお願いしました。これを教訓に、さらに学校と一体となつた点検を実施し、安心、安全の確保に努めます。

校舎の改築は、現在、全校の耐震補強、石綿対策を最優先に年次的に進めており、幸松小学校についても耐震補強で対応したいと考えています。

○このほか

○9月議会請願で採択のとおり「少人数学級」の実施を

○営業や生活の実態に即した、法定点検等を年1回から2回、施設管理者による定期点



幸松小学校

春日部情報発信館について



岩谷 一弘
議員

です。さらに情報の収集・提供、来街者の方々への休憩場所の提供や観光ボランティアの方々によるガイドの実施等、さまざまなことを行つていただきたいと考えています。

地元商店会とは、休館日に

ついて協議しました。また、

元の特産品を並べることにし

ました。今後とも地元の方々

と連携を図つてまいります。

春日部駅東口に開設が決まりた春日部情報発信館、愛称「ぶらっとかすかべ」に対する市民の期待は大きいと感じております。以下質問します。

①設置目的と効果

②場所選定の経緯と業務内容

③地元商店会との連携

○総合政策部長

今回スタート時点では物販を想定していませんでしたが、強いアドバイスをいただき地元の特産品を並べることにし

ました。今後とも地元の方々と連携を図つてまいります。

このほか

○新・緊急財政健全化計画

○ITシステム再構築



鬼丸 裕史
議員

クレヨンしんちゃんは、今年度から市の子育て応援キャラクターとして活用が始まり、広く市民にも定着してきており、市を代表するキャラクターとなっています。来年度の活用について、引き続きどのような展開を考えているのか伺います。また、春日部駅東口にオープンした情報発信館における、しんちゃんの活用についても伺います。

一方、市の特産品をモチーフにした「はごっち・キリたん・ハッティー・ぱっこ」や、「ふじたこくん」についても、まずは定着させることが重要ですが今後の考えを伺います。

ささらに、しんちゃんや春日部出身の芸能人を観光大使に起用し、効果的に市を内外にPRすることに対する考え方を伺います。

○総合政策部長

クレヨンしんちゃんについて

では、来年度も子育て応援キ

のようになります。

そこで、この協議会のもとで、公共交通の再編計画はどう

再生に関する法律に基づき、

国や地方の支援が受けられる協議会を立ち上げるよう求めました

が、既に協議会を設立したところについても、この計画を策定する過程で検討します。

○新・緊急財政健全化計画

○武里団地について

春日部市のPRについて



春日部情報発信館（物産コーナー）



片山いく子
議員

地域公共交通再編計画について

行政情報ばかりではなく、観光情報、商店街の情報等、市民や来訪者の方々が必要とする情報を発信する基地としていると考えています。それにより集客効果を高め、本市のイメージアップを図り、知名度を高めるとともに交流人口を増加させ、地域の活性化を図ることを目的としています。

空き店舗の活用を前提として、1階部分が活用でき、でかけるだけ駅から近く、多くの通りがある場所を選定しました。業務内容は、観光情報、イベント情報、タウン情報、市政情報等、各種情報の案内

の活用については、管理している各種団体とイベントでラクターとして活用が始まり、の活用の方法を協議します。

観光大使については、大変有効なPR手段ですが、まずは市の情報発信に努めます。

○都市計画マスタープランについて

○地域公共交通再編計画について

○都市整備部長

市では、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づく協議会を設立し、10月29日に第1回の協議会を開催しました。

今後、この協議会のもとで、市民、交通事業者、行政等が連携しながら、総合的な公共交通網の充実を目指した、地域公共交通総合連携計画の策定を図ります。

春バスの第2次の運行計画は、この計画の一部として位置付けていきます。

また、オンデマンドバス等の、さまざまな公共交通のあり方についても、この計画を策定する過程で検討します。

○新・緊急財政健全化計画

○武里団地について

一ノ割駅周辺のまちづくりについて



滝澤 英明
議員

一ノ割駅周辺のまちづくりについては、昨年の3月議会で取り上げ、駅周辺の皆様と勉強会等を行い、地元住民主体のまちづくりや民間の活力を生かしたまちづくり等を通して、これから時代に合った一ノ割駅周辺のまちづくり構想を進めていくとの答弁をいただきました。この1年間における一ノ割駅周辺のまちづくり構想の経過を伺います。

また、一ノ割駅は、乗降客数が春日部駅に次いで2番目に多い駅であるにもかかわらず、改札口は1カ所しかなく、駅前広場や周辺道路も整備されていないため、とても不便な状況です。そこで、平成20年度に創設された、地域まちづくりモデル支援事業を活用して、まちづくりを進めることができないか伺います。

○都市整備部長
過去に作成した一ノ割駅周辺まちづくり構想の事業資料



等を精査しながら、現状に即した手法を検討しているところです。そのため、地元主体での勉強会等の立ち上げまでには至っていません。

地域まちづくりモデル支援事業については、補助金の交付要件に該当する自主的なまちづくり活動を行う団体が組織されれば、本制度を活用し、市として支援したいと考えています。今後は、勉強会等を立ち上げられるよう、まちづくりの機運を高め、構想を構築したいと考えています。

○市の保健衛生施策について

石川市長のマニフェストの中の、日本一帰るとホッとする街については、春日部市への郷土愛を醸成し、市民の願いに合った目標であると評価します。その中の私の駅づくりという施策では、それぞれの駅とその周辺が特色を持ち、帰るとホッとする癒しの駅の創造とあります。市長が考えている具体的なイメージを伺います。また、市として私は駅づくりをしたいのだという熱い思いを各駅長さんに伝えるために、現場主義の市長として、ぜひ電車に乗つて各駅をごあいさつに行つていただきたいと思います。



白土 幸仁
議員

石川市長のマニフェストの中の、日本一帰るとホッとする街については、春日部市への郷土愛を醸成し、市民の願いに合った目標であると評価します。その中の私の駅づくりという施策では、それぞれの駅とその周辺が特色を持ち、帰るとホッとする癒しの駅の創造とあります。市長が考えている具体的なイメージを伺います。また、市として私は駅づくりをしたいのだという熱い思いを各駅長さんに伝えるために、現場主義の市長として、ぜひ電車に乗つて各駅をごあいさつに行つていただきたいと思います。

○新型インフルエンザ等の対応について

石川市長のマニフェストの中の、日本一帰るとホッとする街については、春日部市への郷土愛を醸成し、市民の願いに合った目標であると評価します。その中の私の駅づくりという施策では、それぞれの駅とその周辺が特色を持ち、帰るとホッとする癒しの駅の創造とあります。市長が考えている具体的なイメージを伺います。また、市として私は駅づくりをしたいのだという熱い思いを各駅長さんに伝えるために、現場主義の市長として、ぜひ電車に乗つて各駅をごあいさつに行つていただきたいと思います。

さらに、日本一いきいきと老後を過ごせる街の中の、民間キャリアを生かして市政を手助けしていくだけシンクタンクの構築という施策についての具体的展開についても伺います。

○市長
新型インフルエンザの累計患者数は1000万人を超え、冬を迎えるが本格的になるのを危惧しています。特に、小児感染が多い中、休日当番医や小児救急平日夜間診療部の受診状況を伺います。

また、年末年始、新型インフルエンザを疑う発熱患者の

私の駅づくりですが、今後はそれぞれの駅の性格に応じて、ハード面については駅前広場や駅前通り等の整備を、現在事業中の春日部駅、南桜井駅から進めたいと考えています。そのほかの駅についても、周辺の商店街との連携により、ソフト面での演出ができるのか検討してまいります。

市民のキャリアを生かしたシングルタンクについては、知恵や技術を生かし、市政のさまざまな場面でお手伝いをいただける頭脳集団、実動集団としてのシングルタンクを作りたいと考えています。

○健康保険担当部長
休日当番医や小児救急平日夜間診療部の患者数は、昨年に比べほぼ2倍であり、新型インフルエンザの流行による患者が増えた場合は、医師会と調整してまいります。

現在も当番医の協力により、時間延長などで患者数の増加に対応していますが、さらに患者が増えた場合は、医師会と調整してまいります。

○市長
新型インフルエンザワクチンの接種については、低所得者の方に全額補助することにしており、さらなる補助は考えていません。

○このほか

○庄和総合支所の施設整備における防犯対策について

○市民窓口サービス向上

石川市長のマニフェストについて



白土 幸仁
議員

私の駅づくりですが、今後はそれぞれの駅の性格に応じて、ハード面については駅前広場や駅前通り等の整備を、現在事業中の春日部駅、南桜井駅から進めたいと考えています。そのほかの駅についても、周辺の商店街との連携により、ソフト面での演出ができるのか検討してまいります。

次に、県内12市で独自に新型インフルエンザワクチンの接種費用を補助しています。子育て日本一や、日本一老後にいきいきと過ごせる街を公約にしている市長は、子どもや高齢者に対し、独自に補助する考えがあるか伺います。

小口福祉貸付金の増額を



村松 君子
議員

小口福祉貸付金制度は、緊急に生活に困っている人に対して、社会福祉協議会が窓口になつて貸し付けを行つているものです。年間貸付件数146件のうち、生活保護申請者の割合は90%以上を占めており、生活保護を申請してから実際に入金するまでの約1カ月を、この貸付金に頼つて生活をする人がほとんどです。県内市での小口福祉貸付金の限度額は、3万円が10市、5万円が16市、10万円が4市となつていて、当市の2万円というのは1市のみで、県内最低です。子どもが4人いる合計5人の母子世帯の実際例では、複数家庭ということでおよそ3万円を受け取りました。3万円で、約1カ月暮らせると思われますか。市長は日本一幸せに暮らせる街と言いますが、それは市民一人一人が幸せに暮らせる街ということではないですか。この5人が生

活できる金額だと思いますか。増額をできないか伺います。

○市長

日本一幸せに暮らせる街については、すべての市民を対象に考えています。

生活保護は最後のセーフティネットであり、申請に基づき開始決定がされて受給になると認識しています。

社会福祉協議会の貸付事業については、団体独自の事業と認識しています。

このほか

○介護保険の充実

○がん検診の充実と人間ドック補助復活を

事業仕分けと春日部市財政に与える影響について



蛭間 靖造
議員

先月、政府の行政刷新会議において、事業仕分けが実施されました。仕分けの対象となつた事業には、道路や公園整備などを後押しする国土交通省のまちづくり関連事業や、総務省所管の地方交付税など、地方自治体に直接影響を与えると思われる事業が含まれて

いました。そこで、特に影響を与える内容について伺います。

また、現在作業を行つてゐる平成22年度予算編成に向かって、どのように反映するのか伺います。

○財務担当部長

市の財政への影響は、間接的に影響が出てくるものなど、細かく把握するには難しい状況です。その中で特に影響があるものとして、地方交付税、交付金、まちづくり関連事業、道路整備事業等が挙げられます。具体的にまちづくり関連事業では、藤塚米島線整備事業や南桜井駅周辺事業の進捗状況に影響が出ると考えています。道路整備事業では、春日部駅付近連続立体交差事業や、東埼玉道路の建設に影響を与えると考えられます。

また、事業仕分けされた内容について、今後の国の動きに注意を払い、その結果をよく精査した上で、平成22年度予算編成に慎重に取り組んでまいります。

○バス路線の拡充について
○最勝院の丁字路に信号機の設置について
○栄町二丁目の水害について

今定例会の日程

提出議案の上程・説明・質疑・討論・採決、閉会

11月27日

開会、公有財産有効活用検討特別委員長報告、公有財産有効活用検討特別委員会の終結、議案第81号から議案第103号までの上程・説明、議案第104号から議案第107号までの上程・説明・質疑・討論・採決、議案第83号並びに議案第84号及び議案第87号から議案第89号までに対する質疑、

総務委員会、常任委員長報告とそれに対する質疑、議案第83号並びに議案第84号及び議案第87号から議案第89号までに対する討論・採決

▽総務委員会

10月20～22日

・行政視察：姫路市（消

防・防災体制について）、神戸市（市民サービスの向

上について）、多治見市（健全な財政に関する条例について）

▽厚生福祉委員会

10月21～23日

・行政視察：久留米市（病

児保育デイサービスについて）、大牟田市（市立総合病院について）、北九州市（健康づくり施策について）

▽建設委員会

10月21～23日

・行政視察：高知市（公共

下水道事業（雨污水整備）について）、小松島市（下

水道浸水被害軽減総合事業について）、阿南市（公共

下水道事業（浸水対策）について）

▽教育環境委員会

10月21～23日

・行政視察：旭川市（旭川

市科学館サイバル）、名寄市（地産地消の取り組みに

各常任委員長並びに議会運営委員長報告とそれに対する質疑、各議案並びに請願に対する討論・採決、議員

12月17日

一般質問

12月4日

議案に対する質疑

12月3日

議会運営委員会

12月7・8・10・14・15日

常任委員会

10月21～23日

・行政視察：高知市（公共

下水道事業（雨污水整備）について）、小松島市（下

水道浸水被害軽減総合事業について）、阿南市（公共

下水道事業（浸水対策）について）

▽教育環境委員会

10月21～23日

・行政視察：旭川市（旭川

市科学館サイバル）、名寄

市（地産地消の取り組みに

思われますか。市長は日本一幸せに暮らせる街と言います

が、それは市民一人一人が幸

せに暮らせる街ということ

はないですか。この5人が生